

熊本フォーラム第4分科会 事前アンケート結果

熊本経済同友会まちづくり委員会
2025年10月

2025年9月5日～12日にて集約：31名回答

- ① 熊本は県の最上位方針である「くまもと新時代共創方針」や、2018年に熊本経済同友会・熊本商工会議所で策定された「熊本市中心市街グランドデザイン2050」にあるように「世界に拓く国際都市・熊本」を目指していますが、あなた自身が思う「目指すべき国際都市・熊本」の姿はどのようなものですか。

特徴・注目点

熊本独自の魅力（歴史・自然・食文化）を活かしつつ、国際的な競争力や多様性を兼ね備えた都市像が理想とされている。

交通やインフラの課題、安全・安心の確保も国際都市化の前提条件として強調されている。

回答傾向

多様性・共生の重視

「多国籍な人々が共存し、互いをリスペクトしながら共創する都市」「外国人が働き、住みやすい都市」など、国際都市としての多様性・共生を強調する意見が多数。

観光・経済・文化の発展

「世界から人が集まり交流できる都市」「熊本城や阿蘇山など観光資源を活かす」「半導体関連企業の誘致やスタートアップ育成」など、経済・観光・文化の発展を重視。

交通インフラ・安全安心

「交通網の確立」「渋滞対策」「災害対応」など、都市基盤の整備や安全性への関心も高い。

住みやすさ・生活者目線

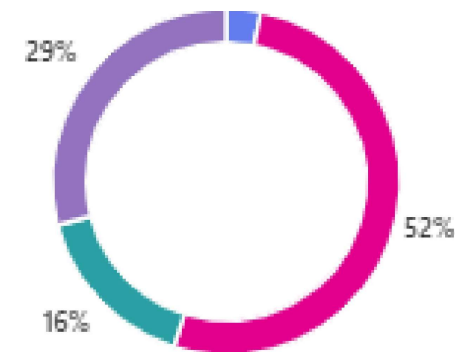
「住民が住みやすいまち」「相互扶助の精神」「おもてなしの心」など、生活者目線の都市づくりを求める声も多い。

- ②「熊本市中心市街地グランドデザイン2050」では、今後の重点取組みを4つ掲げています。この中で最も重要（優先度が高い）と思う項目を選択ください
- ③ ②で選択した理由を教えてください

特徴・注目点

人材確保・育成が都市の持続性の根幹と認識されている。
交通インフラの課題が都市発展のボトルネックとして強く意識されている。

● 中心市街地における「15分生活圏」の形成	1
● 交通政策と都市政策を連動させた中長期サービスの実現	17
● 人手不足への対応、人材育成・定着	5
● 中心市街地に期待される機能の更なる充実	8



回答傾向

人手不足への対応・人材育成が最多

公共交通や都市機能の低下の原因として挙げられている。「持続的な賑わいづくり」「人口減少対策」「若者の定着」「計画の持続性」などを求める声が多い。

中心市街地の機能充実

「徒歩圏内で衣食住が完結」「都市機能の集積」「公共交通の強化」「暮らし・にぎわい・環境の充実」など、都市の利便性・魅力向上を求める声も。

交通政策と都市政策の連動

「渋滞問題の抜本的改革」「移動サービスと生活サービスの連携」「都市高速や公共交通の充実」など、交通インフラと都市政策の一体的推進を重視。

- ④現在、熊本市の新庁舎整備が進められており、「（仮称）庁舎周辺まちづくりプラン検討委員会」での議論が進むなど、熊本市中心部（特に熊本城前地区、通町・桜町周辺地区）が大きく変わろうとしています。あなたはこのエリアがどのように変わることを望みますか。「熊本城前みらいビジョン」のイメージ図も参考にご回答ください。

特徴・注目点

- ・生活者・利用者の視点を重視した都市空間づくりが求められている。
- ・歴史・文化・自然資源の活用と、都市機能の充実・再編が両立することへの期待が高い。

回答傾向

市民と観光客が共に楽しめる街

「生活者視点のまちづくり」「憩いの場の造成」「歩行者・トラム中心の街」など、利用者目線の都市空間への期待。

再開発・都市デザイン

「高層・低層建築のバランス」「歴史文化の活用」「都市の利便性・魅力向上」など、都市空間の再編・デザインへの関心。

安心・安全・持続可能性

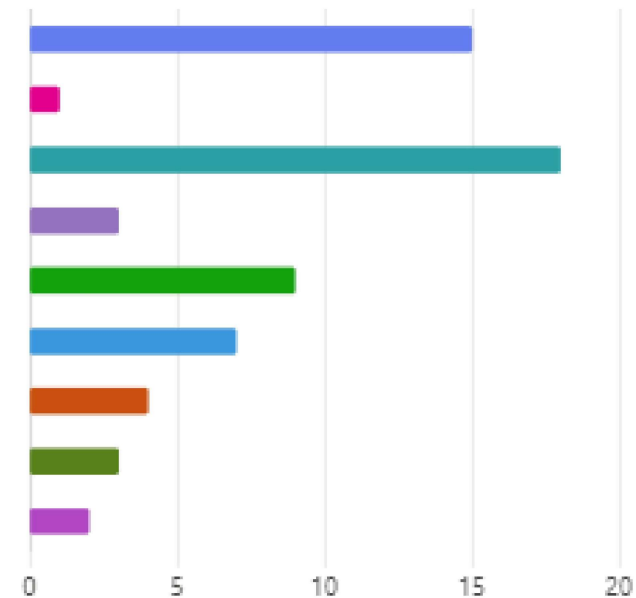
「災害対応」「安心・安全な環境」「ウォーカブルなコンパクトシティ」など、都市の持続性・安全性も重視。

⑤熊本市中心市街地の活性化に向けての課題について、特に早期解決が必要だと思う項目を2つ選択ください

特徴・注目点

交通・インフラの課題が都市活性化の前提条件と認識されている。
多様性や新規性の不足も、都市の魅力向上の障害として意識されている。

● 交通渋滞	15
● 駐車場不足	1
● 公共交通機関の利便性低下	18
● 空き店舗・空きビルの増加	3
● 老朽化したインフラ・建物	9
● 人通りの減少、集客力の低下	7
● 多様性、新規性の不足	4
● 地域文化の活用の不足	3
● その他	2

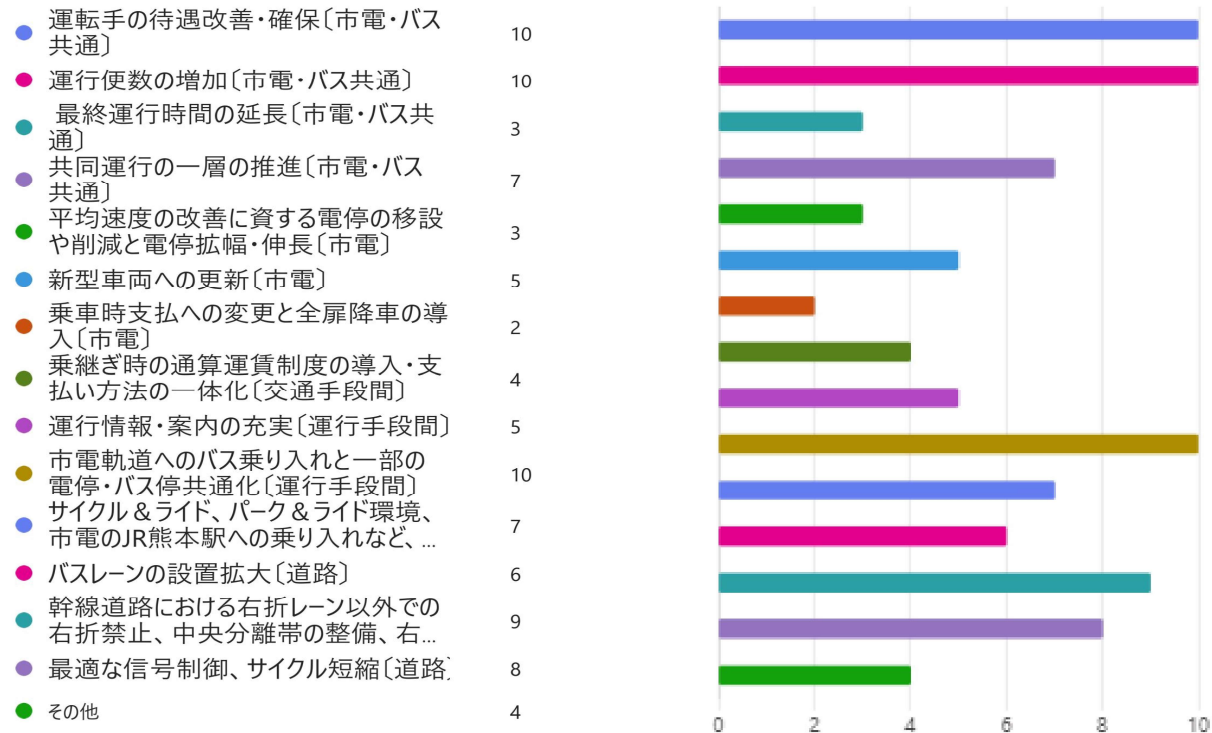


- その他
- ・喫煙環境の整備
 - ・まちづくりビジョンの具現化

⑥渋滞解消の早期実現に向け、今年9月10日に経済5団体にて、熊本市・熊本県・熊本県警へ要望書を提出予定です。要望書の項目から、特に優先すべきだと考えるものを3つ選択ください。

特徴・注目点

公共交通の利便性向上が渋滞解消の鍵と認識されている。
インフラ整備や予算措置の必要性も強調されている。



- その他
- ・市電を捨てるか、歩道に寄せて部分的に車両の通行量増やす。
市電やJR、バスの連携を増やし、車に乗らないで良い工夫をする。
 - ・市電を廃止し、バスレーンとして使用
 - ・路線の網羅
 - ・県、市の予算増額

- ⑦渋滞が解消され、公共交通の利便性が向上した熊本のまちには、どのような変化、都市の価値が生まれると考えますか

特徴・注目点

渋滞解消・公共交通の充実が都市の価値向上に直結するとの認識が強い。
経済・環境・生活の質の多面的な向上が期待されている。

回答傾向

人が集まる都市・街の魅力向上

「経済活性化」「企業誘致・インバウンド増加」「住みやすさ・訪れやすさの向上」など、都市の活力や魅力が高まることへの期待。

生産性向上・CO₂削減・Well-Being向上

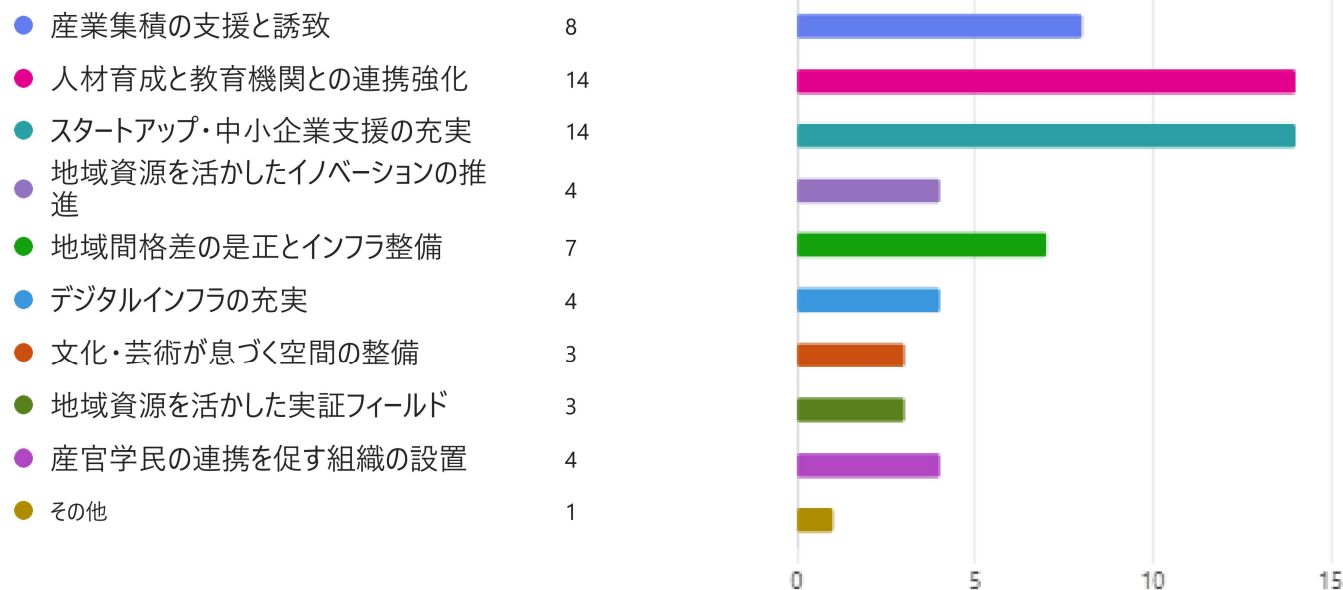
経済・環境・生活の質の向上も期待。

一部には「公共交通の利便性向上だけでは価値創出につながらない」との慎重な意見も。

- ⑧熊本は今年6月に世界に通用する新興企業（スタートアップ）の創出を目指して国が集中的に支援する「スタートアップ・エコシステム拠点都市」に選ばれています。また、今年3月には半導体イノベーション構築を目指す「くまもとサイエンスパーク推進ビジョン」も発表されました。このような熊本の持続可能な成長を推進する新たな産業・価値創造のために必要だと思う項目を2つ選択ください。

特徴・注目点

大学機能強化・官民連携・高度人材の活躍機会創出など、教育・人材・産業の連携強化を重視。



● その他

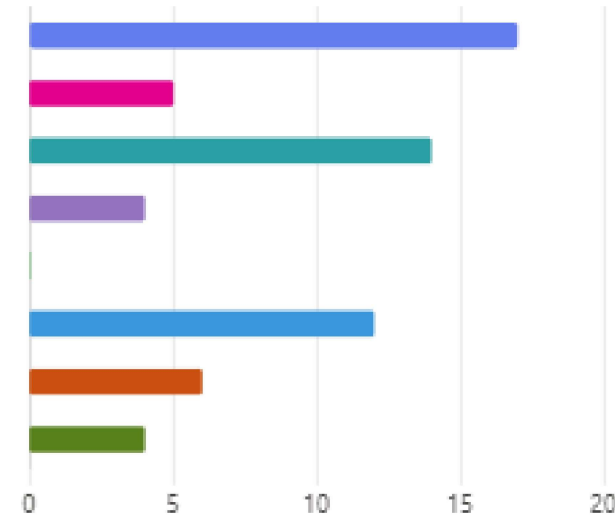
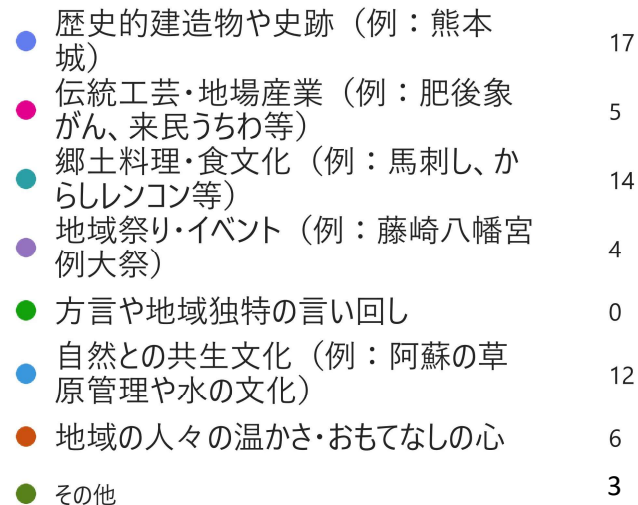
- ・大学の機能強化に向けた官・民の資金提供、高度人材の活躍機会創出に向けた民間企業の誘致、技術の大学へのフィードバックの連環

- ⑨地域文化の活用についてお尋ねします。熊本はTSMC進出、国際線の増便等を契機に、外国人居住者やインバウンドが増加傾向にあり、そのような方々の視点（外からの視点）での熊本の良さ・魅力を発掘・発信することも重要です。熊本の地域文化の中で、もっと磨くべきもの・活用すべきものは何だと思いますか。2つ選択ください。

特徴・注目点

「歴史的建造物や史跡（熊本城など）」「伝統工芸・地場産業」「郷土料理・食文化」「地域祭り・イベント」など、熊本独自の文化資源の活用・発信が重要とされている。

自然との共生・地域の人々の温かさ・おもてなしの心も評価。地域文化の多面的な活用・発信が都市の魅力向上に不可欠と認識されている。



● その他

- ・上記それぞれは個々で追求していけば良い、そしてその個々だけの為にならず、それ以外の中小零細企業から成り立っている事を考えると他に魅力的なものを増やしていけないのだろうか？
- ・地域ではなく、日本文化を広く知っていただきたい。
- ・アーケード街を活かした回遊性地元商店と大型商業施設の相関的な発展

⑪その他ご意見等ございましたら、ご記入ください

1	熊本の新しい魅力としてポップカルチャーを活用するイベントを開催しているので、実際に見に来てほしい
2	熊本は今からが大事な局面であり、大きく飛躍を期待致します。
3	今までの問いは、一部（小さな枠）の事にこだわっているばかりで、何が大事で、何を早期解決しなくてはならないか偏りがあるように感じた。上手に丸めて無駄な月日が過ぎる考え方よりも本質を捉えた厳しい考えを追求していかなきゃ変わらないと思いました。
4	「グランドデザイン2050」はTSMCの熊本進出が発表される以前に作られたものであり、前提条件が大きく変わっていますので、そこに縛られることなくゼロベースで街づくりを進めたほうがよいと思います。 また、街づくりにあたっては「官」・「学」・「金」・「老人」が関わると面白味がなく、持続可能性の低いものになってしまう恐れが大きいと思いますので、経済界の若手を中心に進めてもらいたいと考えます。
5	残念ながら熊本フォーラムに参加できません。申し訳ございません。熊本に来てまだ半年もたっておらず、県の方針などが十分理解していないままの回答となっていると思いますが、ご容赦ください。熊本には初めて赴任しましたが、九州の地理的な中心であり、温泉、観光、食文化など相当な魅力を感じています。今後ともよろしくお願いします。
6	10分・20分構想の早期実現のため、国（特に国交省と財務省）への働きかけを強化すべきと考えます。
7	中心市街地の災害対策

熊本フォーラム第4分科会 事前アンケート

個別回答

(回答者数31名)

- ① 熊本は県の最上位方針である「くまもと新時代共創方針」や、2018年に熊本経済同友会・熊本商工会議所で策定された「熊本市中心市街グランドデザイン2050」にあるように「世界に拓く国際都市・熊本」を目指していますが、あなた自身が思う「目指すべき国際都市・熊本」の姿はどのようなものですか。

1	魅力溢れる都市
2	経済・文化・観光など各分野で世界から人が集まり交流できるような都市
3	熊本の旅行ではインバウンドが多くアジア圏は勿論、欧米、欧州など多国籍人種が来熊し、働く方も多種多様な外国人が働き、熊本の住民と普通に共存共栄を行っている。
4	多様な背景を持つ人々が世界中から熊本に集い、違いをリスペクトしながら共創する都市
5	国内外からの転入者に対応すべく多様性に対応できている都市
6	「くまもと新時代共創方針」や「世界に拓く国際都市・熊本」を目標に熊本市中心市街グランドデザインを考えるとすれば「生活している人が住みやすいまち」に尽きると思います。共創とは、お年寄りも若い人（子ども）もお互い相互扶助の精神で身近に感じる都市形成のシステムを考えるべきであり、それが出来るようになると循環型の経済都市圏として自給自足、ものづくり等がもっと進化出来るのではないかと思います。 当然、それを行うなら交通網を確立をしないと絶対出来ないのも、熊本らしい渋滞対策を考える事による経済効果も視野に入れて活動すれば、自ずと国際都市として注目されると思います。
7	今回の線状降水帯、過去の地震で分かったように、安全安心が第一。
8	費用対効果が不透明なハードを整備するのではなく、多言語に対応できるヒトや施設を増やして多様な人びとに対して「おもてなしの心」を表すソフト面を整備すべきであると考えます。箱モノを安易に新築するのではなく、既存の施設の魅力を見直し、ストーリー付けを行ってアピールできないかを考えるほうが、より熊本の歴史・文化を伝えていくことができるのではないかと考えます。
9	歴史ある熊本城、世界的自然観光資源である阿蘇山等観光資源も数多くあり、世界に拓く国際都市としては、観光(インバウンド)をメインにし、経済分野では裾野の広い半導体関連の企業の誘致やスタートアップ企業の育成に注力し熊本市中心市街地をすべての起点としてアジア圏で特色ある都市を目指す。

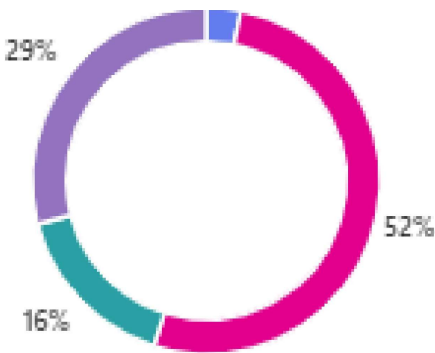
10	九州観光における起点として熊本が機能できるための交通網の再配置・拡充が行われ、中心部の回遊性を高めるとともに渋滞を解消するための自転車道の整備や観光案内のデジタルサイネージ等が実現した、地域住民のみならず観光客に優しい都市
11	豊富な観光資源、世界に誇れる食材をアピールすることで、アジア圏に加え欧米の観光客、居住希望者を増やしていく。その為のインフラとして、福岡空港の欧米直行便を機に、鹿児島との協力体制で、九州南ラインの観光ルートを強化、新幹線増便を申請。熊本城観光中心部ホテルをアピールし九州南北のハブとして存在を示す。
12	ヨーロッパの都市のように「日本・熊本市」という地名・場所が、世界中の人々から「水の街、熊本市」とか「大自然を控えた熊本市」のようにイメージできる街づくり
13	市街地はコンパクトな中に飲食、商業、観光が楽しめ、インバウンドの方々と同様に市民も遊べる都市が理想と思う。その為には、多様な宿泊施設やスポーツ施設公共交通機関の充実が急務と考える
14	博多のように外国人環境客で溢れる街
15	多様性があり、交通ネットワークの利便性・快適性が向上し、成長し続ける魅力的な街で、住みたいと思ってもらえる都市。地域の魅力と国際的な競争力を兼ね備えた都市。
16	単に外国人が多いだけでなく、国際交流が盛んに行われ、経済、文化、教育、外交面で国際的な役割を担える姿を想像します。熊本空港や熊本の港湾が貿易や物流の拠点となり、多様な国籍の人々が共生しながら、ファッションや音楽などの文化交流も盛んになり、熊本城の歴史や県産品、阿蘇や天草の自然などを世界に発信できる若い人材が多く輩出できるようになると素晴らしいと思います。
17	人口減少という大きな社会課題を抱えている現状を打破すべく、国内外の企業が集積出来る環境整備（インフラ・教育・文化交流 等）が出来ている都市を考えています。人・もの・金を集積する事ができ、なおかつ住みやすい街並みが形成されている都市です。
18	子育て世代・高齢者が住みよい熊本。熊本の特徴を活かした新たな観光地づくりを考えた熊本。

19	主要産業における外国人技術者との共生だけでなく、さまざまな産業で外国人就労者が集まる街。また、魅力ある観光資源への外国人旅行者の来訪。
20	熊本県は九州の中心に立地しており、交通面においてその優位性を発揮して、工業、農業そして観光産業をバランス良く発展しながら人口の減少をできるだけ少なくする政策をとり九州地区での優位性を伸ばす必要がある。そのためには、交通インフラ整備と渋滞解消のソフト政策を重点的に推進する必要がある。そうする事で海外からの関係人口を増やすことができ熊本県のGDP増加を増やす事が可能と考える。また、若者が熊本で就業できる企業誘致とともに小中高そして大学・専門学校へも重点的な予算投下を行い学園都市としての機能も強化すべきと考えます。
21	経済的な豊かさを基本とし、交通インフラの整ったコンパクトシティ。JR熊本駅、熊本空港からのアクセスの改善を図り、熊本都市部への導線を充実させることにより都市の魅力を引き上げ、多様な人材が集える街を目指す
22	地下水と自然共生の国際都市・城下町文化を活かした都市ブランド・多様な人材が活躍できる街・次世代モビリティとスマート都市・災害復興から世界に発信
23	文化/伝統と先端技術が融合した都市づくり
24	国際都市とは目指すものではなく、必要なものが充実していれば自然となっているものである。
25	人々が生活するうえで利便性が高く、日本人のみならず外国人も「ここで暮らしたい」と強く思える都市 熊本城を始めとする歴史的財産、阿蘇山を始めとする自然遺産、その他食文化を含めた熊本の魅力が世界中の人から認められ、「何度でも熊本に行きたい」と外国人に思われる都市
26	県民の豊かな生活と経済を基礎とし、将来選択し得る未来が豊富にある活力にあふれた都市
27	熊本城、アーケードなど日本らしさを特色に市街地に賑わいを創出し、更なるインバウンドを呼び込みで国際的著名都市となり、 その波及で熊本地元の商店、飲食、観光への国内からの注目度が上がり、国内外の人が行き交うことで地域も潤う活性化が循環する都市。
28	住んでよし、訪れてよしが体感できる、ウォークブルなコンパクトシティ

29	TSMCの誘致を機に、台湾はじめアジア各国と人・もの・文化・情報等の交流が活発になり、関係する外国人と共生する熊本。
30	・「地域色・独自色豊かなユニークな国際都市」を考えます。 国際都市は一般的に東京・大阪のような大都市で、経済政治・文化・社会インフラの面も大規模であるイメージがあります。熊本が目指すべきは、大都市の総合的な国際都市ではなく、得意分野に絞ったコンパクトでユニークな内容であるべきと考えています。 ・経済面：海外市場開拓への取り組み 経済面では、半導体企業進出を契機に活性化が図られ、今後も関連分野での企業誘致や雇用創出等に期待が持てますし、観光産業も活況を呈しています。それ以外の分野での活性化案の一つとして、海外市場開拓を考えます。地域産品・工芸品等の輸出及び拠点進出、その前工程となる展示会等PRを一貫して支援する仕組み構築が重要だと思います。 ・文化面：居住受入を前提とした交流・共生 台湾を筆頭に外国人居住者も増加傾向にあり、多文化共生には多言語対応のサービス・教育が重要です。行政・公共交通機関・商業施設でのサービスは元より日常会話でも台湾の言葉（中国語・台湾語）や英語が使われる状況となれば良いと考えます。四角四面の教育だけでなく、気軽に学べる場所や容易かつ自然で当り前に多言語に接する機会を増やしていくことが国際交流の第一歩だと思います。 熊本市街地にリトル台湾があって、台湾料理を堪能しながら熊本弁と台湾の言葉が飛び交うという会食や、熊本と台湾の文化を持ち寄ったイベントが開催されるなどとても楽しいだろうと思います。 外国人が観光だけでなく、不自由なく楽しく居住出来る街づくり、文化の違いをお互いに尊重し理解しあえる土壌を醸成していくことが国際都市化だと思います。 ・社会インフラ：スマートシティ化 決済におけるキャッシュレス化、公共交通機関や醜態緩和におけるAI導入によるインフラ整備、行政や商業でのオンライン化や新認証方法導入による利便性向上といったスマートシティ化は短期間低コストで出来る国際都市化策だと考えます。
31	「熊本都」構想。大阪都構想同様に、熊本市を特別区の4区に再編し、特に、交通行政の一元化・スピードアップにつなげる。また、将来の道州制に備え、九州都の首都機能の先駆けとなることを目指す。

② 「熊本市中心市街地グランドデザイン2050」では、今後の重点取組みを4つ掲げています。この中で最も重要（優先度が高い）と思う項目を選択ください

- 中心市街地における「15分生活圏」の形成 1
- 交通政策と都市政策を連動させた中長期サ-ビスの実現 17
- 人手不足への対応、人材育成・定着 5
- 中心市街地に期待される機能の更なる充実 8



③ ②で選択した理由を教えてください。

	中心市街地における「15分生活圏」の形成（回答数1）
1	渋滞によって発生する生産性の低下は、他の地域と競争する上での足枷になっていると思う。

	人手不足への対応、人材育成・定着（回答数5）
1	人手不足が公共交通機関の使い勝手の悪さや中心市街地の機能低下などの原因になっていると考えているから
2	ヒトの魅力・能力をベースとしたソフト面の充実が、訪れる人々を惹きつけ、持続的な賑わい作りに繋がっていくと考えられるため。
3	人口減は熊本に限らず喫緊の課題であり、（外国人を含む）外部からの人口が増えることは地域活性化を生むと考える為。
4	人手不足が1番の問題点だと思うし、また若者の熊本離れをなくすまちづくりを考える事が大切だと思うから
5	どんなに立派な仕組みや計画をつくっても、実際にそれを運営・発展させる人がいなければ持続できない。

7	中心市街地に期待される更なる機能の充実 (回答数8)
1	徒歩圏内で衣・食・住がすべて完結できる街づくりが必要だと思う。
2	「持続可能なコンパクトシティ」の実現に向けて、都市機能の集積に関する充実、公共交通の強化に関する充実、暮らし・にぎわい・環境の充実、デジタル・イノベーションの活用などが考えられ、これらの機能が充実することで、熊本市中心街は「住みたい・働きたい・訪れたい」都市としての魅力を高められる。
3	機能の更なる充実？何も出来ていないと思っている。それが出来てから他の3項目が必要になる。
4	中心市街地を、現在よりさらに多くの人が集まり、魅力満載の場所にする必要があるため
5	生活の基本はまちづくりだと常日頃から思っているから
6	中心市街地に行く目的を作り、行きやすい環境を作ることによって求心力となり、国内外のいろいろな人々が行き交うクロス発信ポイントとして周辺にもその効果が波及していくものと期待するため。
7	建物の老朽化が深刻化している。再開発が必須であり、新たな機能とゾーニングが必要
8	中心市街地の機能充実が課題に対して直接的取組みであり、最も早く効果が出る項目だと考えるため。

	交通政策と都市政策を連動させた中長期サービスの実現 (回答数17)
1	人口減少は否めない。熊本を選んでもらえるような夢と希望溢れるワクワクした都市が良いと思うから
2	世界からみても渋滞問題は深刻で都市高速など抜本的な改革が必要である。でないとインバウンドの方は熊本に来ない。
3	熊本市の最大の課題は、域内移動の際の時間コストが極めて高いことにあると思います。また、高齢化の更なる進展により、熊本市内においても買い物難民が多数生まれるものと思います。交通と産業と福祉の三面から、移動サービスと生活サービスについて考える必要があると考えるから。
4	交通渋滞ワーストを払しょくするため
5	中心市街地ばかり注目しているから今の熊本になっていると思う。中心市街地は、そこで生活する人たちが生きる事を優先してその地域の存続価値を考え無いのであれば、これ以上の発展はないと思う。都市の面が小さすぎるから共倒れになる。だからこそ、中心市街地グランドデザインよりも都市の中での生きやすい生活ルーティンを交通政策が上手くいくと引っ張られるようにして都市政策が可能になると思う。 交通網がバラバラで小さい都市形成から発展は生まれない。

	交通政策と都市政策を連動させた中長期サービスの実現（回答数17）
6	県外者の方々が、常々渋滞がひどい、道がわかりにくい、公共交通機関の
7	公共交通、特に路線バスの路線の再構築、待ち時間の短縮には改善の余地を感じる。車利用を減らすには、公共交通の利便性を高めることが必須と考える。
8	中心市街地の充実も必要と思うが、それについては市役所移転後のまちづくりに期待している。それと同じく交通政策を進めていかなければ、都市としての発展の妨げになると思っている。
9	交通渋滞対策は早期に解決していきたい課題だと思います。バスや市電の利便性の向上、高速道路網の整備などでストレスのない移動サービスを充実させることで、熊本はさらに成長すると思います。
10	長年の課題である交通渋滞を解消するための施策は考案されているが、具体的なスケジュールで動き出し出来ているように感じないため。また、弊社も認定パートナー制度に登録した官民連携でスタートした「時差出勤」や「リモートワーク」も必要だとは考えているが、解決できる点はいくつか部分的な話であり、根本的な解決にはならないと考えているため。今後の企業集積を目指す中で、社会人口、関係人口の増加を前提とすると、やはり中長期的な施策の前倒しが必要だと考えています。
11	政令指定としてワーストといわれる、交通渋滞による多大な経済的損失が最も重要な課題と考える。 その解決のためには、公共交通の充実が必須だが、それ以上にインフラ整備（特に主要道路の立体交差化など）による渋滞解消を早急実現すべきと考える。
12	現状の熊本都市圏の旅行速度は最悪であり、これを解決する事がすべての産業誘致や関係人口増加の肝になる。
13	都市機能は充実し、観光資源なども揃っている。問題は交通インフラの不便さ。
14	滞在時間を延ばし、コト消費を進めさせるためには、中心部の魅力アップが不可欠であるとともに、周辺とのシームレスな連結、移動のし易さ、移動自体を楽しめる環境整備が重要であると考えます。
15	経済活動を行う上で交通インフラの改善が急務と考えるため
16	目指すべき国際都市熊本の実現には、中心市街地だけではなく周辺地域との有機的、効率的なネットワーク形成が不可欠と思われる。
17	10分・20分構想には、不可欠な施策であると考えから。

- ④ 現在、熊本市の新庁舎整備が進められており、「（仮称）庁舎周辺まちづくりプラン検討委員会」での議論が進むなど、熊本市中心部（特に熊本城前地区、通町・桜町周辺地区）が大きく変わろうとしています。あなたはこのエリアがどのように変わることを望みますか。「熊本城前みらいビジョン」のイメージ図も参考にご回答ください。

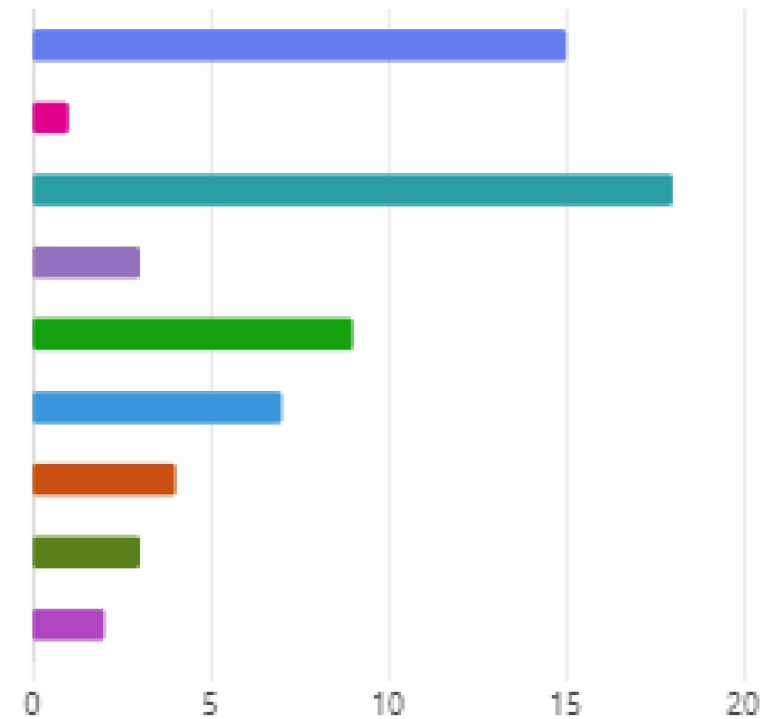
1	市民と観光客が共に歩んでいける
2	生活者の視点を取り入れたエリアになってほしい（見た目がいい水盤は人が使える面積を狭くするし、本当に必要な日陰が街中の広場には少ないから人が集まらないなど、計画する側のエゴを押し付けるようなデザインに魅力はない）
3	商業施設だけでなく老若男女が集う憩いの場所の造成が必要である。
4	車の侵入を極力規制し、歩きとトラムで楽しめる街が望ましいと考えます
5	気軽に足を運べる街になること
6	熊本城を中心に観光するのであれば楽しいと思います。でも、熊本市で生活している人が、どれだけここに何回来て楽しむかは別だと思う。この狭い都市空間に固執しているから良い機能が果たせないのでは無いだろうか。
7	プランやビジョンはある程度のレベルに達していると思います。これからは、UE都市再生機構にお手伝いいただくとか？具現化へ向けた協議が必要だと思います。
8	高層建築物と低層建築物のメリハリを利かせ、市庁舎跡地のようなシンボリックなエリアでは高さ制限を撤廃した先進的な超高層ビル、そうしたエリアをアーケードをつなぐ老朽化した建物が集積するエリアでは、現実的な需給・利便性を踏まえた2～3階建の低層施設とし、一定のルールに基づいて街全体のデザイン・空気感が調和のとれたものに変貌することを期待します。
9	熊本城という歴史文化の中心地として現代版城下町として政治経済の中心地となり特色あるエリアとなるよう期待します。

10	新庁舎ビルを魅力ある商業施設にする。サクラマチをハブにしてアーケード方面、新庁舎・熊本城方面、の2ルートをもうけて活性化させる。熊本城方面は雨と暑さ対策が必要。
11	住民サービス機能の充実は基より、市民、県民、県外、国外誰もが「熊本といえば中心部」と思える、明るく楽しい時間を過ごせる地域に発展してほしい。宿泊施設もビジネスホテルが主流な中で、ファミリー向け、温泉が欲しい。
12	市役所移転後にどのような再開発の建物ができるかによって変わってくると思うが、少なからず、城という財産を生かした自然の空間は大切と思う。
13	徒歩圏内で衣・食・住がすべて完結できる街づくりが必要だと思う。
14	熊本中心市街地の再開発に対して望むことは、都市としての利便性の向上、にぎわいと経済活性化、持続可能性と環境配慮などで、これらが組み合わさることで、熊本中心市街としての魅力を高め、地域全体の価値向上につながると思う。
15	桜町に事務所があり、この地区の活性気には大いに期待しているところです。すでに整備もされていますが、市役所の移転に加えて医療機関の充実も期待したいところです。老若男女が集える熊本の中心地になって欲しいところです。
16	安心・安全な環境が守られている事が前提で、熊本城も一体となった人口交流が出来る中心市街地になる事を望みます。特に直近発生した豪雨災害等、様々な事案が発生しているため、都市の中核に位置するエリアだからこそ、安全性の更なる向上が必要だと感じます。
17	熊本城前地区は観光を拠点とし熊本の新しい観光スポットになればいいと思う。
18	居住地域や商業地域でなく、熊本城を中心とした「緑あふれる市民の憩いの場」を創出していくべき。
19	公共交通（ＪＲと電車の鉄軌道、バス、タクシー）と自転車と徒歩での移動が中心となるよう、乗用車流入を排除できるような交通政策を実現したい。中心部には自転車の大型駐輪場（オランダのような）を整備することで自転車利用を増加すべきと考える。また、定速のモビリティも高齢化社会に対応できるように整備したい。

- 20 開放感があり、人が集える場所。夏の猛暑、ゲリラ豪雨などの天候に左右されない工夫が必要。まちなかとの回遊性も検討し相乗効果を出していきたい
- 21 アーケード街・商業施設等が地上のみならず、ペDESTリアンデッキでも繋がった高い回遊性、悪天候や真夏においても外出を楽しめるまち。
- 22 「熊本城の歴史的価値を軸に、国際交流・市民生活・環境共生・未来的モビリティが融合した“熊本の顔”となる空間」です。観光のためだけでなく、市民が誇りを持ち日常的に利用することで、真に持続可能なまちづくりが実現すると考えます。
- 23 市役所跡地をスポーツ施設として活用
- 24 夜の街からの脱却
- 25 歴史的遺産である熊本城を中心とした城下町の良さを残しながら、熊本経済の中心地として今以上に魅力ある街に変貌することを望む
- 26 新庁舎や中央庁舎が出来たとしても、経済的な大きな渦は起きてこないと思う。
中心市街地への一極集中ではなく、個々に役割を持った形を作り、一例として熊本駅から桜町までをどんな形の繋ぎの町に作り上げていくかではないかと思っている。このような形を各所に作り、最終的にはそれらが大きなまちへ変化することが目的であってほしい。
- 27 連続的(連鎖的)なデザインと整備により、コンパクトシティとして回遊性を高めることを望む。中心部へのアクセス整備だけでなく、街中でのインフラ整備(ペデや地下道等)により繋がる街づくりを目指してほしい。例えば、路地の活用、荷物の自動搬送なども考えられるのではないかと思います。このエリアの街づくりとして、明確に熊本県の中心地として確立するビジョンで進めてほしい。(元々、医療での「熊本方式」として確立してきた背景など、地域連携や集約が得意なエリアのはず。)
- 28 市庁舎移転後の跡地活用も含め、エリアごとの適切な機能分担等による基本的な構想の策定が必要。
- 29 住んでよし、訪れてよしが体感できる、ウォーカブルなコンパクトシティ
- 30 ・人が自然と集う街であって欲しいと思います。新庁舎を目的とした人の流れは新しく出来ると思います。バスターミナルを起点とした流れもありますが、それ以外の大きな賑わいを望みます。
・更なるバス利用活性化によるターミナルへの人流、集客に資する商業施設・商店街の内容の充実とそこからの人の流れ、断続的なイベントの開催、市民の憩いの場設置により自然と人が集う賑わいあるエリアに変わっていくことを望みます。
- 31 地上では、雑居ビル等の集約を行なって、熊本城が見える空間を確保し、ラグジュアリーホテルを誘致して、高付加価値のサービスも提供する。また、温暖化や豪雨時でも拠点間を移動しながら買い物も楽しめる地下街を整備する。

⑤ 熊本市中心市街地の活性化に向けての課題について、特に早期解決が必要だと思う項目を2つ選択ください

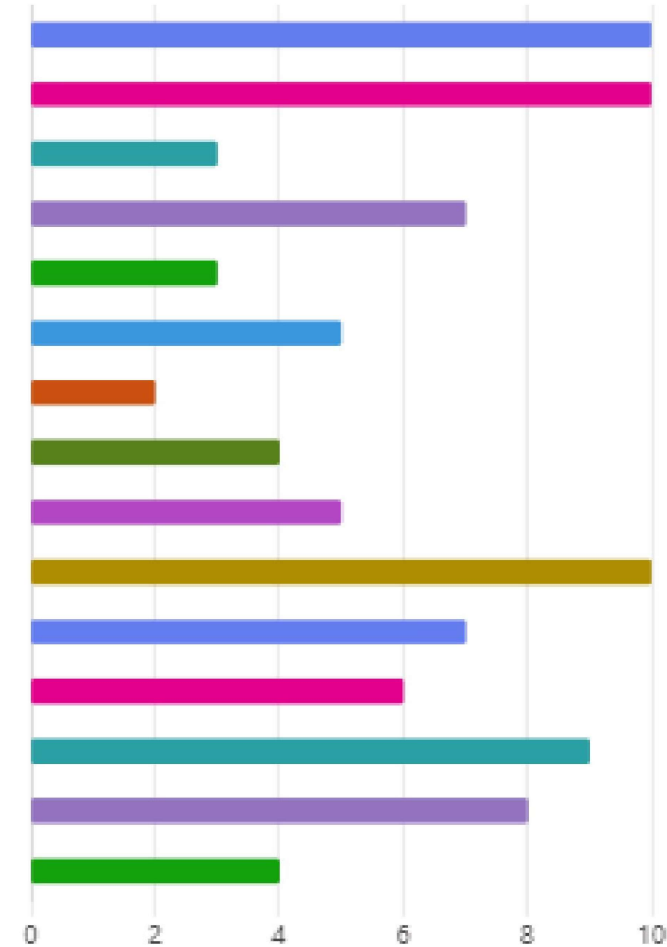
● 交通渋滞	15
● 駐車場不足	1
● 公共交通機関の利便性低下	18
● 空き店舗・空きビルの増加	3
● 老朽化したインフラ・建物	9
● 人通りの減少、集客力の低下	7
● 多様性、新規性の不足	4
● 地域文化の活用の不足	3
● その他	2



● その他
・喫煙環境の整備
・まちづくりビジョンの具現化

⑥ 渋滞解消の早期実現に向け、今年9月10日に経済5団体にて、熊本市・熊本県・熊本県警へ要望書を提出予定です。要望書の項目から、特に優先すべきだと考えるものを3つ選択ください。

● 運転手の待遇改善・確保〔市電・バス共通〕	10
● 運行便数の増加〔市電・バス共通〕	10
● 最終運行時間の延長〔市電・バス共通〕	3
● 共同運行の一層の推進〔市電・バス共通〕	7
● 平均速度の改善に資する電停の移設や削減と電停拡幅・伸長〔市電〕	3
● 新型車両への更新〔市電〕	5
● 乗車時支払への変更と全扉降車の導入〔市電〕	2
● 乗継ぎ時の通算運賃制度の導入・支払い方法の一体化〔交通手段間〕	4
● 運行情報・案内の充実〔運行手段間〕	5
● 市電軌道へのバス乗り入れと一部の電停・バス停共通化〔運行手段間〕	10
● サイクル&ライド、パーク&ライド環境、市電のJR熊本駅への乗り入れなど、...	7
● バスレーンの設置拡大〔道路〕	6
● 幹線道路における右折レーン以外での右折禁止、中央分離帯の整備、右...	9
● 最適な信号制御、サイクル短縮〔道路〕	8
● その他	4



- その他
- ・市電を捨てるか、歩道に寄せて部分的に車輛の通行量増やす。
市電やJR、バスの連携を増やし、車に乗らないで良い工夫をする。
 - ・市電を廃止し、バスレーンとして使用
 - ・路線の網羅
 - ・県、市の予算増額

- ⑦ 渋滞が解消され、公共交通の利便性が向上した熊本のまちには、どのような変化、都市の価値が生まれると考えますか

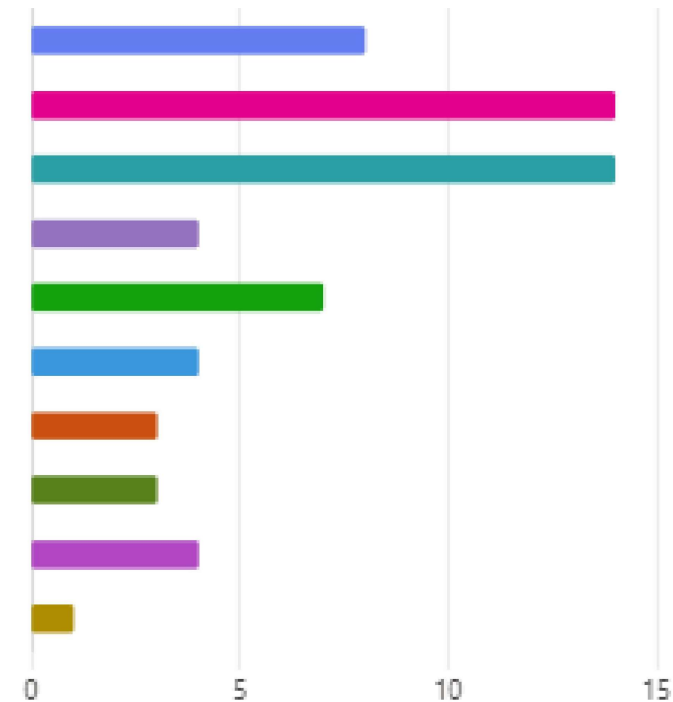
1	人が集まる
2	駐車場に使われてきた空間の活用が進み、街の魅力が増える
3	元々九州の中心地であり、九州各県から集まりやすくなり、福岡と並び都市となる。
4	豊かな自然環境を有し、生活においてもビジネスにおいてもストレスの少ない都市として、世界中から選ばれるチャンスが生じる
5	交通渋滞解消によって県内での回遊が盛んになることにより消費が進み雇用も増える
6	働く人のストレスが減れば生産性効率につながり経済活性化にも繋がる。それにより健康経営としての価値が上がる。
7	企業の生産性向上
8	公共交通の利便性が向上したとしても、渋滞が解消されたら逆に車を利用する人が増えて、新たな渋滞が生まれ、利便性が向上した公共交通の利用が低下する可能性も考えられますので、渋滞の解消と公共交通の利便性向上が必ずしも価値創出に繋がらないのではないかと思います。
9	インバウンドの増加、企業誘致の優位性向上、子育て世帯の定住化等、経済面、定住人口増加など中核都市としての発展期待できる。
10	外出が増えることにより経済効果が生まれる。県外居住者が増える。
11	交通インフラが整えば、居住者も旅行者も移動がスムーズになり、暮らしや旅行の質が向上する。住みやすい街として人の往来が増え、街に活気が出る。今まで車がないと行けなかった場所にも気軽に訪れることができ、波及効果が期待できる。

12	街としての機能が十分に生かされてる事となり、インバウンド、国内の観光客のリピーターも増える事で、都市として雇用や収益も上がり、価値が向上すると思う。
13	インバウンドのさらなる増加
14	渋滞の解消により時間的価値が創出され、生産性が向上する。 CO ₂ 排出量の削減により脱炭素都市としての評価も向上。 スムーズな移動が可能になることで、観光客などの満足度も向上。 「公共交通を軸としたまちづくり」は、単なる移動手段の改善にとどまらず、都市全体の価値を底上げする。
15	中心地の飲食街、商店街もさらに活性化していくのではないのでしょうか。熊本の食文化は大変素晴らしいと思いますので、移動手段の主流を車から公共交通機関に変えていくことで、景気も良くなるように思えます。
16	渋滞等の課題が解決できた上で、市街地に魅力ある企業や産業・商業が集まってくる事で、より一層の交流が生まれるまちが形成され则认为ます。
17	観光地として栄え、住民にとっても住みよい街として価値が上がる考えます。
18	市民には、移動時間が計算できることにより経済的損失が解消され、観光客には、渋滞が酷いという印象を拭えることから、来訪のハードルが下がる。 その結果、「住みたいまち」「訪れたいまち」の認識が高まる。
19	人の移動と物流に関して運行速度向上により生産性・効率性が大幅に改善され、乗用車の中心部への流入減少で安全性も向上すると考えられ、海外からの関係人口（観光と就業と留学）も増えると思います。

20	観光資源も豊かで、その他の都市機能は、既に相応に揃っており、まちとしての魅力は十分あると思われる。課題は交通渋滞などの交通インフラ整備であるため、その部分が解決されれば、自然と都市としての魅力は上がるはず。
21	熊本中心部と周辺部との移動の活性化による滞在都市としての魅力アップ、滞在日数増加による消費拡大に伴う経済発展の相乗効果が生まれると考えます。
22	公共交通中心の「快適で持続可能な都市」公共交通が便利になると、都心部の商業施設・文化施設・イベント会場に人が集まりやすくなる。 夜間の回遊性も高まり、飲食・エンタメ・観光が活性化し、経済効果が拡大する。
23	渋滞問題を乗り越えた（克服した）経験
24	渋滞解消だけでは変わらない。
25	郊外からの集客が増加する、人口が増加する
26	人の移動がスムーズになり、安全性が向上し、まちに賑わいが戻ってきて、そこに郊外型商業施設が中心地により近くに集まる可能性が出てくることで、都市型となる可能性が大きくなる。
27	中心市街地に行く目的を作り、行きやすい環境を作ることによって国内外のいろいろな人々が回遊するクロス発信ポイントとして周辺にその効果させていく求心力のある都市価値の創造。
28	移動方法の多様化、移動時間の短縮による中心市街地への流入人口や滞在時間の増加などが期待される。
29	ウォーカブルな感動体験とWell-Beingが向上したコンパクトシティ
30	・ 中心市街地へのアクセス利便性向上による活性化、商業集積の充実など人が集うことに伴って、更なる人の流れを呼び込む魅力ある街並みづくりに寄与すると思います。 ・ また、仕事・プライベートでの移動の両面で効率アップとなり、住みやすい街に繋がっていくと思います。 ・ 更に渋滞解消は街並みの美観・ECO・環境良化にも良い影響を与えていると思います。
31	多様な人が集まるまちが形成され、イノベーションが生まれやすい、付加価値が高いまちになる。

- ⑧ 熊本は今年6月に世界に通用する新興企業（スタートアップ）の創出を目指して国が集中的に支援する「スタートアップ・エコシステム拠点都市」に選ばれています。また、今年3月には半導体イノベーション構築を目指す「くまもとサイエンスパーク推進ビジョン」も発表されました。このような熊本の持続可能な成長を推進する新たな産業・価値創造のために必要だと思う項目を2つ選択ください。

● 産業集積の支援と誘致	8
● 人材育成と教育機関との連携強化	14
● スタートアップ・中小企業支援の充実	14
● 地域資源を活かしたイノベーションの推進	4
● 地域間格差の是正とインフラ整備	7
● デジタルインフラの充実	4
● 文化・芸術が息づく空間の整備	3
● 地域資源を活かした実証フィールド	3
● 産官学民の連携を促す組織の設置	4
● その他	1

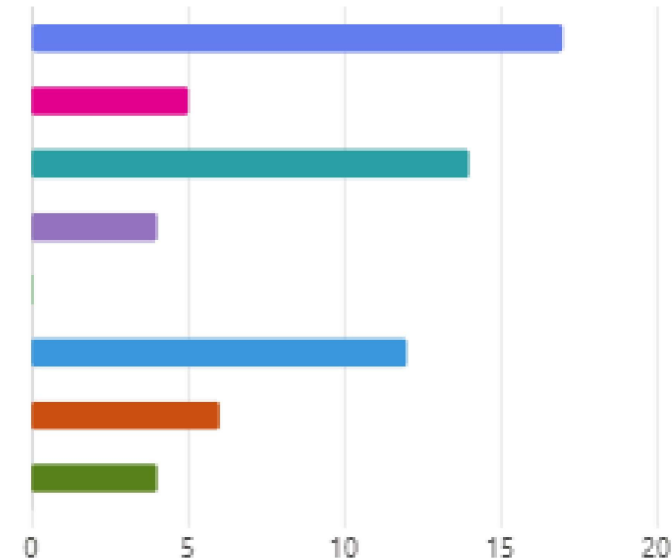


● その他

- ・大学の機能強化に向けた官・民の資金提供、高度人材の活躍機会創出に向けた民間企業の誘致、技術の大学へのフィードバックの連環

- ⑨ 地域文化の活用についてお尋ねします。熊本はTSMC進出、国際線の増便等を契機に、外国人居住者やインバウンドが増加傾向にあり、そのような方々の視点（外からの視点）での熊本の良さ・魅力を発掘・発信することも重要です。熊本の地域文化の中で、もっと磨くべきもの・活用すべきものは何だと思いますか。2つ選択ください。

● 歴史的建造物や史跡（例：熊本城）	17
● 伝統工芸・地場産業（例：肥後象がん、来民うちわ等）	5
● 郷土料理・食文化（例：馬刺し、からしレンコン等）	14
● 地域祭り・イベント（例：藤崎八幡宮例大祭）	4
● 方言や地域独特の言い回し	0
● 自然との共生文化（例：阿蘇の草原管理や水の文化）	12
● 地域の人々の温かさ・おもてなしの心	6
● その他	3



- その他
- ・上記それぞれは個々で追求していけば良い、そしてその個々だけの為にならず、それ以外の中小零細企業から成り立っている事を考えると他に魅力的なものを増やしていけないのだろうか？
 - ・地域ではなく、日本文化を広く知っていただきたい。
 - ・アーケード街を活かした回遊性で地元商店と大型商業施設の相関的な発展

⑪ その他ご意見等ございましたら、ご記入ください

1	熊本の新しい魅力としてポップカルチャーを活用するイベントを開催しているので、実際に見に来てほしい
2	熊本は今からが大事な局面であり、大きく飛躍を期待致します。
3	今までの問いは、一部（小さな枠）の事にこだわっているばかりで、何が大事で、何を早期解決しなくてはならないか偏りがあるように感じた。上手に丸めて無駄な月日が過ぎる考え方よりも本質を捉えた厳しい考えを追求していかなきゃ変わらないと思いました。
4	「グランドデザイン2050」はTSMCの熊本進出が発表される以前に作られたものであり、前提条件が大きく変わっていますので、そこに縛られることなくゼロベースで街づくりを進めたほうがよいと思います。 また、街づくりにあたっては「官」・「学」・「金」・「老人」が関わると面白味がなく、持続可能性の低いものになってしまう恐れが大きいと思いますので、経済界の若手を中心に進めてもらいたいと考えます。
5	残念ながら熊本フォーラムに参加できません。申し訳ございません。熊本に来てまだ半年もたっておらず、県の方針などが十分理解していないままの回答となっていると思いますが、ご容赦ください。熊本には初めて赴任しましたが、九州の地理的な中心であり、温泉、観光、食文化など相当な魅力を感じています。今後ともよろしくお願いします。
6	10分・20分構想の早期実現のため、国（特に国交省と財務省）への働きかけを強化すべきと考えます。
7	中心市街地の災害対策